

## 【飼い主ルール（例）】



### 飼い主の皆さんへ



- ★ 避難所におけるペットの飼育は、飼い主の責任です。
- ★ 「飼い主の会」を立ち上げ、全員が協力してペットの飼育管理を行います。
- ★ ペットを飼育することで重要なのは「事故を起こさない」ことです。

避難所では次のルールに基づいて、飼い主が責任をもって飼育管理を行います。

- 🐾 ペットは決められた場所でケージ等に入れるか、指定された柱等につなぐなどして飼育して下さい。ケージ等の置き場所やつなぐ場所は、指定避難所の従事者の指示に従ってください。決められた飼育スペース以外で、ペットを飼育しないでください。
- 🐾 飼い主個人は、次の飼育管理を行ってください。
  - 餌やり、給水、食べ残しの片付け
  - ペットの飼育に必要な資材（ケージ、食器など）、当面の餌の用意
  - ケージ等内の糞尿の処理、抜け毛の後始末、掃除
  - ケージ等周辺の掃除
  - 犬の散歩、ブラッシング（避難所外若しくは避難所内の指定された場所で行いましょう）

犬の鳴き声は過去の大規模災害時において最も問題となりました。犬を散歩させることで、犬の鳴き声問題はかなり軽減できます。
  - ペットの体を清潔に保つ
- 🐾 ペット飼育場所及びその周辺の清掃をしてください。
- 🐾 排せつは特定の場所でさせ、後始末は確実に行ってください。

臭いに関する苦情は最も多いので、厳重な処理が必要です。排泄物をビニール袋に入れ、かたく口を閉じて、さらに大きなビニール袋や蓋つきのゴミ箱に入れるなど、臭いが外部に漏れないようにしましょう。
- 🐾 ノミ・ダニ等の発生防止等の衛生管理、健康管理に努めてください。
- 🐾 ペットに関わる苦情に対応してください。ペットによる危害防止に努めてください。苦情やトラブルが発生した場合は、みんなで話し合い解決するように努めましょう。
- 🐾 一時的に親戚や知人、ペットホテル等に預ける方法も検討して下さい。避難生活が長期化する場合、飼い主とペットのストレスは大きくなりますので、ストレスを軽減する方法も検討しましょう。